

大阪損保革新懇ニュース

大阪損保革新懇事務局
 大阪市中央区道修町3-3-10
 大阪屋道修町ビル3F
 06-6232-1095

初秋の京都平和ツアーに41名

9月17日(土)京都・立命館大学国際平和ミュージアム見学と金閣寺・トロッコ列車ツアーに子供を含め41名がバスで参加しました。ミュージアム前で記念撮影。会館内でビデオなどでの説明を受けた後、6名ものガイドがついてくださり6班にわかれて見学。地下に設置された「日本の一五年戦争」や「第二次世界大戦後におこった世界の戦争」の様々な資料の展示に釘づけ、よくぞここまで収集されたことに驚きです。

昼食は「京料理・花ごころ」で鋭気を癒し、その後世界文化遺産の金閣寺(鹿苑寺)を散策。広々とした庭園と池に聳える金箔の鮮やかな建築の美しさを堪能。その後、降りだした雨の中、嵯峨野駅に到着しトロッコ列車にゆられ眼下に川下りの船と保津峡の景観を眺めながら楽しい初秋のツアーを終え無事帰阪しました。

「記憶」をつないでいきたい

西岡 郷子さん

記憶 それは薄れゆくもの それはどどめおくべきもの——平和ミュージアムの二階展示室の一角に書かれていた言葉です。

兵隊さんの担いだリュックの重たさ。私には持ち上げることさえ出来ないのにそれを担いで何キロも、山道もあつただろうに、おなかを空かせ黙々と歩いたんやろなあ、隊列から遅れそうになると殴られたかも知れへん。

写真や文字の向こうにいろんな思いを重ねながら、ここで私の脳に新たに加わったことや改めて強く感じたことの「記憶」をつないでいきたい。平和を阻害するのが戦争だけではない、という平和の要素を考えるきっかけにもなりました。ボランティア解説員さんをはじめ、わがチームには他にも2名解説員さんがいてへえー、そうなんだ！がたくさん！おおきにありがとさんでした。

トロッコ電車のホームで手を振って見送ってくれた可愛いマルコメ坊や。到着駅で出迎えてくれた信楽焼の狸の一人(?)に「ありや、西岡さんいつ降りたの」と話かけてるとぼけたオニイサン。バスツアーは今回が初めての参加でしたがバスの中も外も脳と胃袋と刺激され何だか大人の修学旅行みたいで楽しかったです。



みて・かんじて・かんがえて

その一歩をふみだそう

志賀 守孝さん

見学した日は満州事変から80年を迎える前日のことでした。足かけ15年に及ぶ戦争のさまざまな事実をみることができました。「A級戦犯と呼ばれた人たちは戦争犯罪人ではない」などという首相に対し、ここに連れてきて、見せてやりたいと思いました。

貴重な青春時代を戦争に捧げざるを得なかった人たちが、兵士でもない一般の人たちが数多く犠牲となったのに、あの忌まわしい戦争を反省しない人たちがいることに憤りをおぼえます。

そして、未だに続く世界の戦争・紛争の姿も見ることができました。難民や飢えに苦しむ人たちが増大していることや、地雷で多くの子供が被害を受けていることや、25万人以上の子供兵士がいることを知ることができました。広島、長崎の被害やベトナム戦争の被害が、(2面へ続く)

(1面の続き)

今も続いていることも事実で見せてくれました。

戦争の傷跡は永く続くことを、皆が知るべきです。当日もらったパンフレットには「みて・かんじて・かんがえて・その一歩をふみだそう」とあります。この言葉をみなで共有して行動していきたいと思います。

安全と安心と平和な暮らしを

澤崎 恵子さん

「平和ミュージアム」のテーマは『①十五年戦争、②現代の戦争、③平和をもとめて』の3つがあります。戦時中のことは満州事変から敗戦までの十五年間についておもに振り返っています。軍隊は何をしたのか？当時の国民はどんな生活をしていたのか？

私は両親から子どものころに戦時中の話を聞いたことがありましたが、その時のことを思い出しながらか見学をしていました。私の両親はもう亡くなっていませんが、きっとこういう惨劇を繰り返さないように小さかった私に戦争のことを聞かせていたのかなと思いました。

現代の戦争では恐ろしい原爆・核兵器などを所有する国が絶えないこと。そして今も世界のどこかで戦争が続けられ、たくさんの方が亡くなり、飢餓に苦しんでいること。日本も戦争で「世界で唯一の被爆国」として、原子力は平和にのみ使うとしています。

しかし、東日本大震災による被害での福島原発事故は安全とは言えません。安全で安心して平和に暮らせることは、本当に容易いことではないことをあらためて認識しました。人と人が手を取り合って努力しないとできないことだと思います。

金閣寺からトロッコ列車に向かう車中で心配された雨が降ってきました。出発時間まで数分しかなかったのに、びっくり！でも、さすが革新懇のみなさん、ちゃんと間に合うように乗れました。

少々の雨にも負けずステキな景色をながめてトロッコ列車の揺れを楽しみました。

原発撤退署名 全国革新懇が取り組んでいる、原発からのすみやかな撤退を一自然エネルギーの普及を一の署名活動にご協力をお願いします。集めていただいた署名は最寄の世話人迄お願いします。

府・市候補が決意表明

大阪府知事選と大阪市長選の同時選挙が11月27日投票で確定視される中、「明るい民主大阪府政をつくる会」の推薦で知事候補・梅田章二さん（弁護士）と「大阪市をよくする会」の大阪市長候補・わたし考一さん（前大阪市会議員）が先日出馬表明されました。梅田候補は橋下知事や維新の会が狙う「教育基本条例案」「職員基本条例案」は絶対つぶさなければならない。「府民の暮らしを優先する府政を実現にむけてみなさんと一緒に選挙戦をたたかう」と9月17日の事務所びらきで「原発ゼロ・自然エネルギー日本一の大阪へ」の看板をバックに挨拶されました。わたし候補は「橋下知事や維新の会、平松市長が進める財界流の開発優先の政治ではなく防災・福祉の先進都市大阪をつくるために頑張る」と決意表明しました。

『原発ゼロ』発足のつどい

10月15日（土）午後6時半から
於・エルおおさか南館大ホール(天満橋)

“原発を廃止し、ゼロにしよう”『自然エネルギーを中心としたエネルギー政策に転換を』この2つの一致点に基づき協力・共同を広げようと設立準備をすすめてきた「原発をなくし、自然エネルギーを推進する大阪連絡会」（原発ゼロの会）が10月15日（土）に大阪で発足のつどいが開かれます。

よびかけ人として、立命館大学の安齋育郎名誉教授、ジャーナリストの大谷昭宏さん、上方芸能発行人の木津川計さん、ラジオパーソナリティの小山乃里子さん、作家の藤本義一さん、大阪市立大学の宮本憲一名誉教授、自然エネルギー市民の会の和田武代表、大阪音楽大学の日下部吉彦客員教授らが名を連ねています。

◎総会・記念講演のご案内◎

11月9日(水)PM6:30～

会場：大阪府(本町)商工会館7階第一講堂

“原発ゼロ”社会の実現めざして

講師・安齋育郎さん(安齋科学・平和事務所所長)

松浦章さん(大阪損保革新懇世話人)